

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

 上場会社名 りらいあコミュニケーションズ株式会社
 コード番号 4708 URL <https://www.relia-group.com/>

上場取引所 東

 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網野 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岩本 健一郎 TEL 03-5351-7200
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	61,131	9.4	4,279	89.2	4,163	79.7	2,735	106.0
2019年3月期第2四半期	55,888	4.7	2,261	22.4	2,316	23.7	1,327	2.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,398百万円 (288.8%) 2019年3月期第2四半期 617百万円 (113.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.70	
2019年3月期第2四半期	19.27	

(参考) のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2020年3月期第2四半期 2,934百万円 (35.4%) 2019年3月期第2四半期 2,167百万円 (0.1%)

調整後EPS 2020年3月期第2四半期 42.58円 2019年3月期第2四半期 31.45円

(注) 調整後EPS: のれん償却前当期純利益 / (期末発行済株式数 - 期末自己株式数)

四半期においては、「当期」を「四半期」、「期末」を「四半期末」に読み替えて計算

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	57,503	38,849	67.6	563.63
2019年3月期	55,755	37,814	67.8	548.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 38,846百万円 2019年3月期 37,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		18.00	36.00
2020年3月期		19.00			
2020年3月期(予想)				20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	7.1	9,100	64.7	8,900	59.1	5,600		81.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) のれん償却前当期純利益 2020年3月期通期 6,000百万円 (28.0%) 調整後EPS 2020年3月期通期 87.06円

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	69,503,040 株	2019年3月期	69,503,040 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	582,172 株	2019年3月期	582,172 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	68,920,868 株	2019年3月期2Q	68,920,882 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は基調としては緩やかに拡大を続けました。海外経済は米国の通商政策などを背景に減速の動きがみられますが、総じて緩やかな成長を続けました。当社グループが属するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業界では、急速なデジタル化の進展、働き方改革など企業が直面する課題解決のためアウトソーシング需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画である「事業戦略2020」の達成に向け、「4つのイノベーションによる収益構造の変革」「ポートフォリオ見直しも含めた採算管理の徹底」「採用・育成強化、離職率抑制による、生産性の向上」に取り組みました。当第2四半期連結累計期間においては、注力分野であるデジタルシフトにおいて、LINE株式会社が提供する通知メッセージを活用した「りらいあ先回りサポート」等のオムニチャネルサービスを推進したほか、次世代型コンタクトセンターとして、新宿リンクスクエアセンターを新たに開設しました。また、2019年2月に発生した不適切な会計処理に対する再発防止に向け、人事評価制度の見直しやコンプライアンス研修、社員参加型のワークショップなどを実施しました。

売上面では、金融、公益、流通向けなどを中心に堅調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。また、利益面では、大型スポット業務の受託やのれん償却費の減少に加え、離職率の低減など生産性向上に資する取り組みや、新規受注時の採算性確認プロセスの強化、既存業務の採算管理の徹底も寄与し、営業利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は61,131百万円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益は4,279百万円(同89.2%増)、経常利益は4,163百万円(同79.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,735百万円(同106.0%増)となりました。また、当第2四半期連結累計期間ののれん償却前営業利益(営業利益+のれん償却額)は、4,477百万円(同44.4%増)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)は、2,934百万円(同35.4%増)となりました。当社はInspiro Relia, Inc.等の買収に伴うのれん償却費用の影響等を鑑み、のれん償却前営業利益、のれん償却前純利益を経営指標として採用しております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

コンタクトセンター事業

公益、流通、金融向けを中心に堅調に推移し、大型スポット業務の受託もあったことから、当事業の売上高は50,982百万円(同13.1%増)、セグメント利益は3,463百万円(同109.1%増)となりました。

バックオフィス事業

前年同期にあった一部業務の終了等の影響があった一方、消費税増税に伴う大型スポット業務の受託がありました。その結果、当事業の売上高は7,618百万円(同0.8%減)、セグメント利益は727百万円(同20.5%増)となりました。

フィールドオペレーション事業

前年度に引き続き事業の体質改善を目的に選別受注を進めるなどした結果、当事業の売上高は2,531百万円(同18.9%減)、セグメント利益は87百万円(前年同四半期は1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、57,503百万円となり、前連結会計年度末比1,747百万円の増加となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金606百万円、仕掛品316百万円、有形固定資産1,798百万円であり、主な減少は、のれん282百万円、投資その他の資産850百万円です。

負債は、18,654百万円となり、前連結会計年度末比712百万円の増加となりました。主な増加は、買掛金213百万円、未払法人税等908百万円、賞与引当金153百万円、資産除去債務207百万円、リース債務1,520百万円であり、主な減少は、短期借入金500百万円、未払金647百万円、前受金1,125百万円です。

純資産は、38,849百万円となり、前連結会計年度末比1,034百万円の増加となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,735百万円であり、主な減少は、剰余金の配当金による支払1,240百万円、為替換算調整勘定239百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.8%から67.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、16,618百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して1,602百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって獲得したキャッシュ・フローは、2,269百万円(前年同四半期は2,412百万円の獲得)となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益4,149百万円、減価償却費1,120百万円、仕入債務の増減額233百万円であり、主な減少は、売上債権の増減額1,818百万円、たな卸資産の増減額310百万円、法人税等の支払額691百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用したキャッシュ・フローは、304百万円(前年同四半期は1,713百万円の使用)となりました。主な増加は、定期預金の増減額800百万円であり、主な減少は、有形固定資産の取得による支出883百万円、無形固定資産の取得による支出307百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用したキャッシュ・フローは、1,946百万円(前年同四半期は2,003百万円の使用)となりました。主な減少は、短期借入金の増減額500百万円、配当金の支払額1,240百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向並びに見通しを踏まえ、2019年5月14日に「2019年3月期 決算短信」で開示した業績予想を修正いたしました。詳細は、本日開示した「通期業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,659	16,618
受取手形及び売掛金	17,827	18,433
仕掛品	1,418	1,734
貯蔵品	28	22
その他	2,314	2,552
貸倒引当金	△34	△177
流動資産合計	38,214	39,183
固定資産		
有形固定資産	4,654	6,452
無形固定資産		
のれん	3,086	2,803
その他	812	925
無形固定資産合計	3,898	3,729
投資その他の資産	8,988	8,137
固定資産合計	17,541	18,319
資産合計	55,755	57,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,109	3,322
短期借入金	500	—
未払金	7,640	6,992
未払法人税等	921	1,829
賞与引当金	975	1,129
役員賞与引当金	43	35
その他	3,157	2,254
流動負債合計	16,346	15,562
固定負債		
役員退職慰労引当金	20	—
退職給付に係る負債	445	449
資産除去債務	1,099	1,306
その他	30	1,335
固定負債合計	1,595	3,091
負債合計	17,941	18,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998	998
資本剰余金	1,112	1,112
利益剰余金	34,497	35,869
自己株式	△592	△592
株主資本合計	36,015	37,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	22
繰延ヘッジ損益	79	55
為替換算調整勘定	1,796	1,557
退職給付に係る調整累計額	△109	△177
その他の包括利益累計額合計	1,795	1,458
非支配株主持分	2	2
純資産合計	37,814	38,849
負債純資産合計	55,755	57,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	55,888	61,131
売上原価	47,944	51,602
売上総利益	7,944	9,529
販売費及び一般管理費	5,682	5,249
営業利益	2,261	4,279
営業外収益		
受取利息	8	24
受取配当金	3	3
受取手数料	10	11
受取補償金	38	—
持分法による投資利益	8	10
その他	30	22
営業外収益合計	101	72
営業外費用		
支払利息	1	46
為替差損	39	1
貸倒引当金繰入額	—	135
その他	4	6
営業外費用合計	46	189
経常利益	2,316	4,163
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
その他	0	0
特別利益合計	9	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
関係会社株式売却損	89	—
投資有価証券評価損	344	13
その他	30	—
特別損失合計	465	13
税金等調整前四半期純利益	1,861	4,149
法人税、住民税及び事業税	538	1,558
法人税等調整額	△1	△145
法人税等合計	537	1,413
四半期純利益	1,324	2,736
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,327	2,735

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,324	2,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△5
繰延ヘッジ損益	△80	△23
為替換算調整勘定	△648	△241
退職給付に係る調整額	15	△67
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	△707	△337
四半期包括利益	617	2,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620	2,398
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,861	4,149
減価償却費	788	1,120
のれん償却額	839	198
投資有価証券売却損益(△は益)	△9	—
投資有価証券評価損益(△は益)	344	13
関係会社株式売却損益(△は益)	89	—
引当金の増減額(△は減少)	63	268
受取利息及び受取配当金	△12	△28
支払利息	1	46
持分法による投資損益(△は益)	△8	△10
売上債権の増減額(△は増加)	1,548	△1,818
たな卸資産の増減額(△は増加)	△142	△310
仕入債務の増減額(△は減少)	△728	233
未払金の増減額(△は減少)	△421	△651
その他	△553	△231
小計	3,661	2,979
利息及び配当金の受取額	13	29
利息の支払額	△1	△46
法人税等の支払額	△1,260	△691
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,412	2,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,031	△883
無形固定資産の取得による支出	△131	△307
投資有価証券の売却による収入	52	—
定期預金の増減額(△は増加)	—	800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△101	—
その他	△501	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,713	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△759	△500
リース債務の返済による支出	—	△205
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,240	△1,240
その他	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,003	△1,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,354	△41
現金及び現金同等物の期首残高	16,270	16,659
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	99	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,015	16,618

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している一部の在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,445百万円増加し、流動負債の「その他」が196百万円及び固定負債の「その他」が1,324百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は123百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,088	7,678	3,121	55,888	—	55,888
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	9	10	22	△22	—
計	45,090	7,687	3,131	55,910	△22	55,888
セグメント利益	1,656	604	1	2,261	0	2,261

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,982	7,618	2,531	61,131	—	61,131
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	9	62	75	△75	—
計	50,985	7,627	2,593	61,206	△75	61,131
セグメント利益	3,463	727	87	4,279	0	4,279

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。